

ワンゲル会計マニュアル

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ 会計局

○会計の目的

- ① 第三者（顧問、体育会）に部費の運営が適正に行われているかチェックしてもらう。
- ② 部内でどれだけの個人負担があったかを体育会に報告し、それを元に次年度の援助金額が決定される。

ワンゲルに関連して使われたお金は、全て報告する必要があります。個人装備も額に関わらずできる限り領収書を発行してもらい提出して下さい。報告するかどうか迷うような場合でも会計局に相談してみてください。

領収書の提出は、山行で使われたお金は各山行の会計係に、その他は会計局に直接提出して下さい。

レシートは援助の対象とならないので、必ず領収書をもってこよう。

○領収書のもらい方（援助対象になる領収書）

- ① 宛名は『筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ』、これ以外は認められない。
- ② 領収書には領収書発行元（者）の印鑑が押されていないといけない。
※領収書によっては印鑑が押せないものもある。→会計局に相談。
- ③ 但し書きは具体的に。『お品代』は×。
例）合宿食料品代として、修理代として（ソール張り替え）として、コピー代として等
- ④ 領収書の裏に追加説明と氏名を書く。
例）表…コピー代として 裏…冬研勉強会資料として
- ⑤ 振込み等で個人名が必要かつ領収書が発行されない場合は、『筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ』に続いて個人名を書く。
- ⑥ ETCを利用した場合は、ネットの利用明細を印刷して領収書代わりとする。

○部費を使う場合

- ① 領収書は必須。領収書なき立替えは基本的に認められない。
- ② 多額の場合は主将、会計局に相談。
- ③ 多額の場合で立替えできない場合、部費から仮払いを行うことができる。ただし、その場合会計局に相談する。
- ④ 領収書の裏に立替え者の名前を記入する。
- ⑤ 部費だからといって無駄遣いはやめましょう。逆に小額だからといって遠慮せずに請求して下さい。

○各山行会計係の仕事

- ① 領収書をまとめて、かかったお金の総額を計算し、会計報告書に記入し、会計局に提出する。（会計報告書の書き方は別紙参照）
- ② 交通費がかかっている場合は交通費明細を記入し、会計局に提出する。
（交通費明細（車利用）、（公共交通機関利用）の書き方は別紙参照）
- ③ 各山行のメンバーからかかったお金を徴収し、立替え者に返金する。
- ④ 遭難対策費を集め、会計報告書を提出する際に一緒に会計局に提出する。
（遭難対策費についてを参照）

○交通費の計算方法

車の山行の場合、車を出したドライバーのガソリン代が免除されます。この理由は、ガソリン以外の消耗品、車自体の劣化、ドライバーの疲労の代価として免除されます。レンタカーではガソリン代免除はありません。

この計算方法は、まずガソリン代以外を人数分で割った後、ガソリン代をドライバーを抜いた人数で割りドライバー以外に上乗せします。

また、各山行で車、公共交通機関等アプローチが複数の手段に分かれた場合でも交通費は一括して計算され、交通手段による格差を是正します。同様に2台以上の車が出された場合乗車した車に関わらずガソリン代を一括して計算します。

○遭難対策費について

当クラブでは過去の死亡事故の教訓から、

通常登山…4泊以下の山行の場合	200円
5泊以上の山行の場合	300円

バリエーション…合宿	300円
その他	200円

に加え、卒業時に10000円を遭難対策費として徴収します。これは、万が一遭難した際の一時金や保険でカバーできない部分の補填として使用されます。その額は現在XXX万円に上ります。

○領収書および会計報告書の提出、立替えの返金について

- ① 領収書、会計報告書の提出および返金は原則として、ミーティング、リーダー会の際のみに行うものとする。
- ② 領収書、会計報告書の提出は必ず2週間以内に行う。ただし、長期休暇中に発生した場合休暇後2週間以内に行う。
- ③ 返金は、原則として領収書が提出された次のミーティングとする。

○部費について

部費はクラブ員から前期・後期に分けて徴収されます。部費の額は、当時の財政状況により変動します（2009年度においては前期・後期ともに各4,000円の部費をそれぞれ6月、11月に徴収しています）。

部費がどのように使われたかを、年度末に決算報告書として皆さんにお知らせします。

部費の運営が適正に行われているか主将または主務による審査が学期に1回行われます。また、部費の運営がどのように行われているか確認したい方は、いつでも帳簿を公開します。

部費の滞納は有り得ません。

○文部科学省大学生登山リーダー研修（文登研）の費用の補助について

当クラブは、リーダー、リーダー候補となるメンバーをより高度な登攀技術を身につけてもらう事を目的として8月末に行われる文登研に派遣しています。

その際、研修にかかった費用（交通費、食費等）の半額をワングルの部費から補助しています。

派遣されたメンバーは可能であれば領収書をもらい、研修にかかった費用を計上し会計局に報告してください。